



内田中京大 東信経済倶楽部が講演会 教授を招く

東濃信用金庫の取引先企業でつくる「東信経済倶楽部」は25日、講演会を多

治見市虎溪山町のとうしん学びの丘エールで開いた。中京大経済学部の内田俊宏客員教授が「世界経済と日本経済、中部経済の現状と展望」をテーマに語った。

内田氏は国内景気につい

講演する内田俊宏客員教授
＝多治見市虎溪山町、とうしん学びの丘エール

て「新型コロナウイルス下の『強制貯蓄』を背景にリベンジ消費が顕在化しており、年末近くまで回復基調が続く」と予測。中長期的課題として人口減少の拡大を挙げ、「地方には社会増を目指す政策が必要」と述べ、移住者や定住者を増やすまちづくりの必要性を説いた。リニア中央新幹線開業により、東濃は東京、名古屋とのアクセスが向上するとし「十分にチャンスのある地域だ」と

強調した。

講演会は445回目。会員ら約80人が耳を傾けた。

(小森直人)